

平成 20 年 11 月 12 日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 28 号
虎ノ門 Towers オフィス
フィンテック グローバル株式会社
代表取締役社長 玉 井 信 光
(コード番号：8789 東証マザーズ)
問合せ先：経営戦略本部 財務部長 鷺本 晴吾
電話番号：(03) 5733-2121

貸倒引当金及び営業投資有価証券評価損の計上 並びに平成20年9月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、連結・単体決算で販売費及び一般管理費に貸倒引当金を計上し、また連結決算において売上原価に営業投資有価証券評価損を計上（単体決算においては売上の減少）いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 8 月 13 日に発表しました平成 20 年 9 月期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）通期の連結及び個別業績予想を、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 貸倒引当金の計上及びその内容

以下の 3 件の不動産開発プロジェクトを行う特別目的会社に対する貸付金等に対し、連結及び単体決算で販売費及び一般管理費に貸倒引当金を計上いたします。

- ・大阪市内の不動産開発プロジェクトを行う特別目的会社に対する当社からの貸付金 1,500 百万円について、想定を上回る不動産価格の調整及び建築コストの上昇等が生じたために、当該貸付金の回収可能性を見直した結果、貸倒引当金 1,029 百万円を計上することにいたしました。
- ・特別目的会社が東京都内に保有する不動産を責任財産として発行した社債 3,550 百万円について、当該不動産の評価額の著しい下落が認められるため、当該社債に対する評価損として貸倒引当金 3,550 百万円を計上することにいたしました。
- ・愛知県内の不動産開発プロジェクトを行う特別目的会社の社債 1,000 百万円について、同プロジェクトに建築工事の遅れなどが生じていることから、回収可能性を保守的に評価し、当該社債に対して貸倒引当金 1,000 百万円を計上することにいたしました。

2. 連結決算での営業投資有価証券評価損の計上（単体決算では売上の減少）及びその内容

当社子会社フィンテックリアルエステート株式会社（平成 20 年 9 月末に清算終了、以下、「FRE」といいます。）等の当社グループは、平成 19 年 11 月に特別目的会社である合同会社 T S M シックスティーフォーアルファ（以下、「アルファ」といいます。）に対して匿名組合契約に

基づき 2,121 百万円の出資を行いました。また、アルファが不動産開発プロジェクト（以下、「当プロジェクト」といいます。）を行う特別目的会社である合同会社 T S M シックスティフォーベータに対して、匿名組合契約に基づき 2,120 百万円の出資を行っております。（後に F R E は解散・清算したため、その資産を当社に譲渡しております。）

当プロジェクトの不動産に関し、昨今の金融市場の混乱による資金調達環境の悪化や金融機関の不動産融資案件への審査の厳格化などによる不動産取引の低迷を考慮し評価を見直した結果、連結決算において当該出資に関する営業投資有価証券評価損 2,121 百万円を売上原価に計上しております。また単体決算においては、匿名組合が認識した純損失の出資持分相当額が減少することにより、売上高が 2,120 百万円減少（注）しております。

（注）営業投資有価証券に含まれる匿名組合出資金の会計処理について
 当社は匿名組合出資金の会計処理を行うに際して、匿名組合の財産の持分相当額を「営業投資有価証券」として計上しております。匿名組合への出資時に「営業投資有価証券」を計上し、匿名組合が認識した純損益の持分相当額については、「売上高」に計上するとともに同額を「営業投資有価証券」に加減しております。

3. 平成 20 年 9 月期通期業績予想の修正について

(1) 連結（平成19年10月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	14,940	3,281	2,680	△798
今回修正予想（B）	14,165	△8,240	△9,114	△7,185
増減額（B－A）	△775	△11,522	△11,795	△6,386
増減率（%）	△5.2	—	—	—
（ご参考）前期実績 （19年9月期）	16,914	6,286	5,951	1,767

(2) 個別（平成19年10月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	5,537	227	222	△219
今回修正予想（B）	3,704	△7,837	△8,173	△6,081
増減額（B－A）	△1,833	△8,065	△8,396	△5,862
増減率（%）	△33.1	—	—	—
（ご参考）前期実績 （19年9月期）	7,287	4,230	3,731	1,806

(3) 業績予想の修正の理由

① 連結業績

【売上高】

売上高については、平成20年9月4日付のリリースにてお知らせのとおり、子会社の Crane Reinsurance Limited の新スキーム構築に伴い、既存契約の一部が解除されたことで、前受保険料として売上計上していた未経過分を減額したことや、エフエックス・オンライン・ジャパン株式会社の売上が予想より伸びなかったことにより、前回の予想より若干減少し、14,165 百万円となる見込みであります。なお、当社単体決算での売上高の未達に関しては、当社の匿名組合出資金に関する持分相当額が減少したことが原因であるため、連結決算では子会社の匿名組合分配金の減少と相殺され、この影響がなくなります。

【営業損益】

売上原価において、2. で記載しました営業投資有価証券評価損2,121百万円が計上される他、子会社フィンテックリアルエステート株式会社を清算する際に営業投資有価証券評価損1,606百万円を計上したことに伴い、売上総利益が大幅に減少する見込みです。また、単体決算と同じく販売費及び一般管理費に貸倒引当金を計上しているため、貸倒引当金繰入額と貸倒損失の合計額が第3四半期決算と比較して6,164百万円増加する見込みです。この結果、8,240百万円の営業損失を計上する見込みであります。

【経常損益】

上記の通り、営業損失を計上することに加え、営業外費用に有価証券運用損168百万円を追加で計上することなどにより、9,114百万円の経常損失を計上する見込みであります。

【当期純損益】

当社が所有していたエフエックス・オンライン・ジャパン株式会社の株式譲渡に伴い、関係会社株式売却益として特別利益に4,759百万円を計上いたします。

また、特別損失において、エフエックス・オンライン・ジャパン株式会社のシステム関連費用として、システム変更損838百万円（注）を計上いたします。

この結果、当期純損益については、前回の予想より大幅に減少し、7,185百万円の当期純損失となる見込みであります。

（注）エフエックス・オンライン・ジャパン株式会社の純損益については、当社の持分が45.0%であったため、その持分相当額が連結純損益に取り込まれます。

②個別業績

【売上高】

売上高については、第1四半期で収益計上した大型案件の引き続きの取組みによる売上や不動産仲介案件による売上等を計上しましたが、上記2. に記載のとおり、売上高から2,120百万円を減少させることより、前回の予想の5,537百万円より大幅に減少し、3,704百万円となる見込みです。

<ご参考>

匿名組合が認識した純損失の持分相当額（2,120百万円）については、当社の会計処理基準に基づき減少しておりますが、減少前の金額は5,824百万円となります。

【営業損益】

販売費及び一般管理費において、上記1. に記載のとおり、追加の貸倒引当金5,574百万円を計上することや、この他の不動産プロジェクト案件等に対する貸付金についても、回収可能性を新たに見積もった結果として追加の貸倒引当金を計上すること、更に、当社子会社を通して拠出した病院再生事業に対する出資が未回収になっている案件において、担保としている上場株式の時価の減少を鑑み、当該債権に対し追加の貸倒引当金の計上をすることにより、貸倒引当金繰入額と貸倒損失の合計額が第3四半期決算と比較して6,092百万円増加する見込みです。この結果、7,837百万円の営業損失を計上する見込みであります。

【経常損益】

経常損益については、上記の通り営業損失を計上することにより、8,173百万円の経常損失を計上する見込みであります。

【当期純損益】

特別利益として、当社が所有していたエフエックス・オンライン・ジャパン株式会社の株式譲渡に伴う関係会社株式売却益4,059百万円を計上いたします。

また、特別損失として、フィンテックリアルエステート株式会社の清算に伴い、子会社整理損失 1,462 百万円を計上するほか、子会社への出資について関係会社株式評価損 434 百万円を追加計上いたします。

この結果、当期純損益については、前回の予想より減少し、6,081 百万円の当期純損失となる見込みであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる可能性があります。

4. 平成 20 年 9 月期通期業績予想の修正に係る経営責任について

なお、上記の平成 20 年 9 月期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）通期連結及び単体業績予想の修正の結果を真摯に受け止め、経営責任を明確にする所存であります。本件につきましては、本年 11 月 14 日の決算短信公表時にその詳細をお知らせいたします。

以 上